

平成26年度 大館市立矢立中学校 学校評価書(前期 (年度))

A 学校教育目標

ともに学び心豊かでたくましく行動力のある生徒の育成

B 本年度の重点目標

- 1 ふるさとキャリア教育を通して、ふるさとを思う、志と自立の気概を持った生徒を育てる
- 2 学び合う生徒主体の授業を通して、確かな学力の定着を図る
- 3 学校評価を機能させ、課題解決を図り目標の具現化を図る
- 4 互いに高め合う職員研修の充実させる
- 5 地域と共に歩み、地域の元気の源となる学校づくりを図る

C 学校経営の特徴

- 1 英知 Wなぜからのスタート 感じる心, 好奇心, 想像する心
自分の考え(問い)をもち表現できる生徒(ともに学ぶ)
- 2 友情 ともに一歩前進 目標, 共感, 相互評価, 学び合い
志をもち, 互いに高め合うことができる生徒(心の豊かさ)
- 3 気力 体力 自立の気概 自分の足で立つ, あきらめない心
粘り強く最後までやり通すことができる生徒(たくましさ)

地域に支えられ、地域に貢献できる子どもたち



矢立小・中PTAコーラス



閉校実行委員会



受け継ぐ地域の伝統



菊まつり集会



スポーツマッチ



なべっこ



相手を思いやる話し方



公民館まつり

D 評価

ア
生徒の
状況

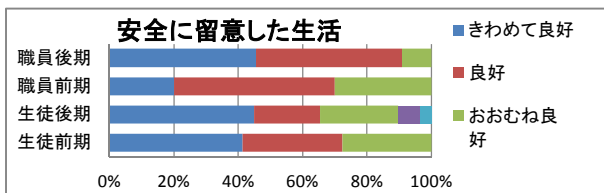
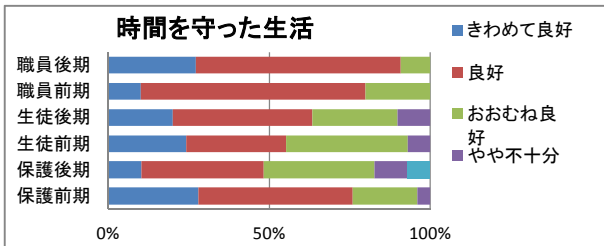
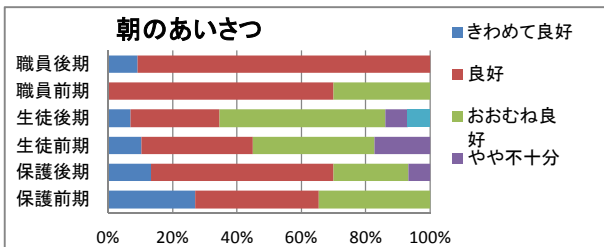
自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活

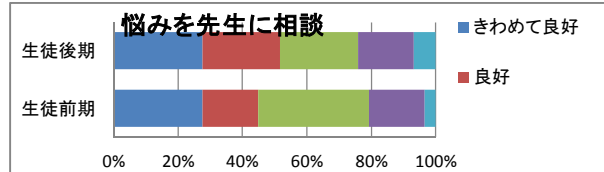
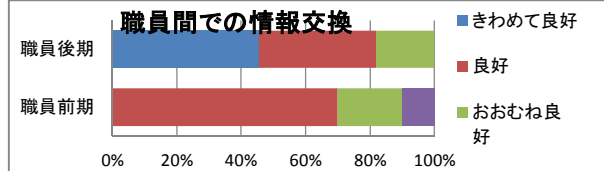
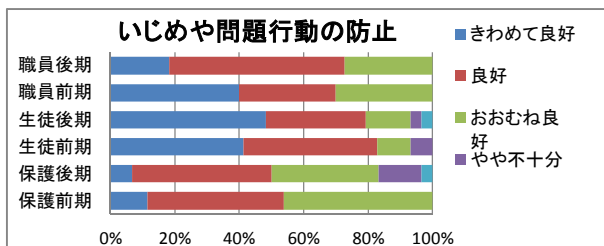
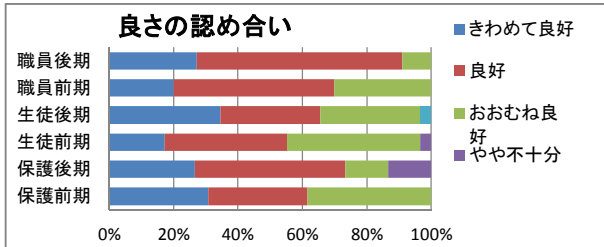
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
明るく心のもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感をはぐくもうとしている。	前期	おおむね良好	良好	三校交流の中で、中学生の元気の良さが目立っているようです。矢中生の挨拶に元気を感じていましたが、統合にあたり臆せず日々元気な挨拶を心がけていただきたい。校内において、自主的に生徒達が大きい声で挨拶出来るような環境に育っています。
	年度	良好	良好	授業参観において、自ら発言をしている姿が自主的な授業態度でありとてもよかった。三学期に入り各学年とも、一歩前進の気迫で授業に取り組んでいる。
学自校己の改善の概要と	【前期(→年度)】地域の方々から、「校外で会っても中学生がきちんとあいさつしてくれる。」と言われ、挨拶をする習慣が身に付いてきたと感じる。また、上級生の落ち着いた生活を肌で感じながら、下級生も見習っている様子である。さらに、様々な活動において、自ら進んで取り組む姿勢が表面に表れてくることを期待したい。			
	【年度(→次年度)】朝のあいさつと時間を守った生活の項目は、職員は前期よりも後期の方が向上していると感じているが、生徒と保護者は前期よりも後退しているという結果になってしまった。行事が多かったり、寒くなってきて疲労が蓄積し、朝起きられず元気が出ないことが予想される。三学期は、号令係を決めたり、生徒会とタイアップして朝のあいさつの仕方を工夫している。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
①基本的な生活習慣	あいさつと礼儀を大切にする態度	朝のあいさつ運動、集会や授業時の元気なあいさつ、学び合いの礼儀	3	4
	時間をまもる、身だしなみを整える、身の回りの整理	5分前行動、ロッカー内教員の整理、机かばん内の整理		
	校内外の安全・安心な生活をしようとする態度	街頭指導、通学状況観察と指導		
②一人一人のよさの伸長	一人一人のよさを引き出し伸ばす	学級経営 学習指導 生指特活	4	4
	生徒理解を通したいじめや問題行動の未然防止	いじめ調査(3回)、人間関係把握(3回)、いじめ不登校対策委員会の実施		
	教育相談を通した生徒理解と悩みの解決	学担、SCの教育相談、自己理解の学習(学活)		

〔①に関連するデータ〕



〔②に関連するデータ〕

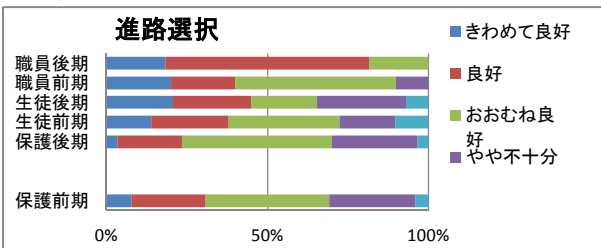


Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

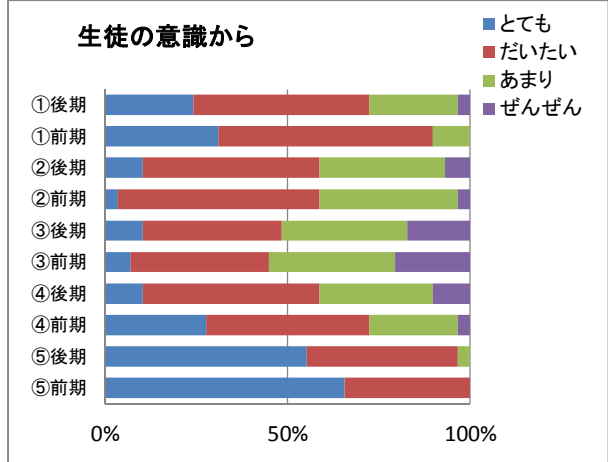
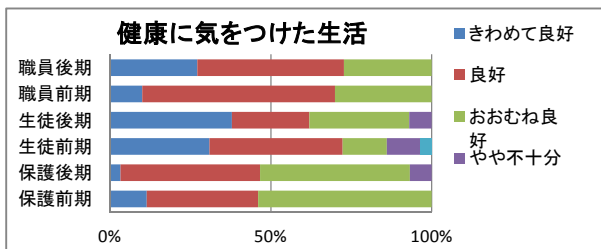
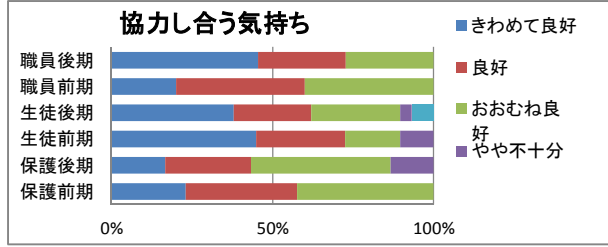
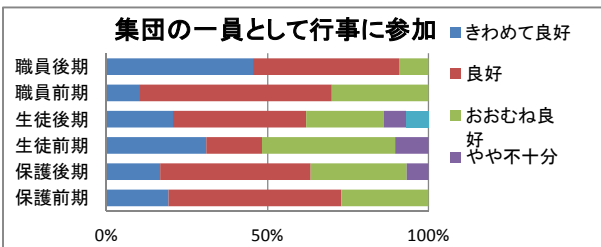
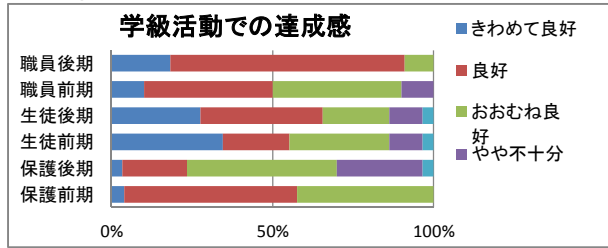
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
互いに認め合い、共に支え合いながら豊かな人間性をはぐくみ、自分の将来を見据えて、自立した生活を送ろうとしている。	前期	良好	良好	菊プロジェクト等を通じて、地域の交流を協力的に進めています。生徒達も菊祭りに向けて自主的に取り組んでいるようです。菊祭りを楽しみにしています。矢中生は、自分達の学校が好きなのようで、また、地域の人達にも感謝されています。お互いに、今後とも思いやりの気持ちをもって頑張ってください。
	年度	おおむね良好	良好	本日の授業を見て、体全体を向けて発表者の話を聞いていて、とてもよかった。更に、なかなか発表出来ない生徒に対して、先生も生徒もあたたかく見守り、言葉が出てくるのをじっと待っていた。感動しました。
校自己改善策の概要と学	【前期(一年度)】高齢者を元気づけることをねらいとした菊プロジェクト、校外でのボランティア活動などにたいへん熱心に、協力的に取り組んでいる。また特別活動と道徳、総合的な学習の時間を関連づけて運用し、学習効果が上がってきていると思われる。進路学習は「全校進路学習強調期間」を設けたり、大館市子どもハローワークの活動に参加を促したりすることで、生徒が自分の将来についてより具体的、主体的に考えることができるように、支援をしていかなければならない。			
	【年度(一次年度)】教科学習・領域・総合の時間の一体的運用が定着し、教師側は意識して活動に取り組ませることができたが、生徒の主体性、という点では物足りない結果となった。「菊プロジェクト」を柱にした地域貢献活動は、地域の皆様にも好評で内容も充実していただけに、生徒の気持ちを高めるところまでもっていけなかった指導について反省しなければならない。生徒の自主的取組を引き出す声かけ、振り返りの場面で大いに賞賛し次の活動の意欲につなげる、など教師側の指導改善をしていきたい。			

評価指標	実践課題	自己評価B	
		前期	後期
③志と自立の気概	自己を見つめ将来の生き方やあり方の追究	地域学習、職場見学、職場体験、菊プロジェクト、キャリアの記録、道徳ノート	
	特別活動(学校行事、生徒会活動)の部分	ボランティア活動、菊プロジェクト	
	特別活動(学級活動)の部分	朝・帰りの会、学級会で 学級活動で	
	心身の健康に留意した生活	保健体育、人間関係作りのエクササイズ	
④活力ある学級づくり	目標に向かってともに高め合う学級	みんなが一步前進する目標や活動毒理の実施と実行	
	温かい人間関係の構築	相互に理解や共感を深める機会の設定	

【③に関連するデータ】



【④に関連するデータ】



- ① 学校が好きだ
- ② 勉強が好きだ
- ③ 自分にはよいところがある
- ④ 将来の夢や目標がある
- ⑤ 人の役に立つ人間になる

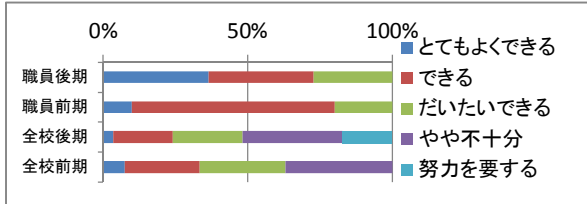
Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント	
基本的学習習慣を身に付け、意欲的に授業に取り組み、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	良好	各学年の授業を見ると、生徒みんなが手を挙げ発表しています。職員アンケート結果を見ると、先生自身厳しい評価をしておりますが、生徒達の学習の意欲は高まっていると思います。学習への取り組み姿勢が確立して、家庭学習や授業中の自分の考えを発表し、高めることが出来るようになってきた。
	年度	おおむね良好	良好	生徒の学力はたかい評価を得ていますが、今後統合すると、それが維持できるか心配です。今一歩、頑張ってください。
と 自 学 己 校 評 価 の 改 善 策 要	<p>【前期(→年度)】各学年通信で週末の課題を家庭にも通知するなど、学習習慣の確立に向けて取り組んだ結果、生徒の基礎学力は向上してきている。授業においては、生徒どうしが相互に考えを交流し合える学習活動の充実に取り組んでおり、その実践を通してさらに主体性や表現力を高めていきたいと考えている。</p> <p>【年度(→次年度)】各教科の授業においてまとめの時間を大切に、評価問題の継続実践に取り組むことで、基礎・基本の定着を図ってきた。基礎学力の向上という点についてはまだ十分とは言えないものの、生徒ひとりひとりの学びに対する意欲、学び合いを通じての充実感や表現力は高まってきていると考える。</p>			

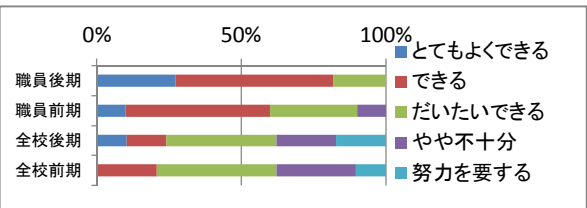
	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
⑤学習への取り組み	基本的な学習態度及び習慣の確立	「学習の約束」の徹底、学習点検カードの活用	3	3
	自主的に学習ができる	家庭学習の指導の徹底。自学ノートの活用		
⑥主体的に考え、表現する力を育てる	問いかけ(発問)と学習問題(課題)の提示と対応するまとめ	授業記録とその振り返り	3	3
	意欲や達成感を高める評価	評価問題の継続実践		
	主体的に自己の考えや思いを表現する場の充実	5つの言語活動の授業実践、学び合いの実践(教科、道徳)		

⑤について《生徒・職員アンケート結果》

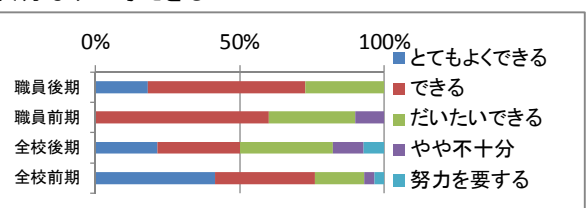
授業前の学習



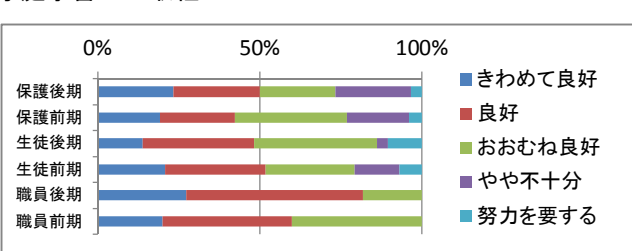
授業中の姿勢



自分なりの考えをもつ

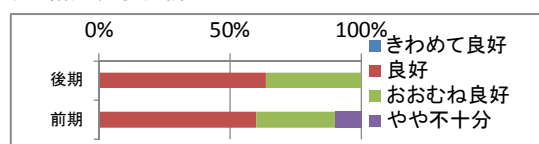


家庭学習への取組

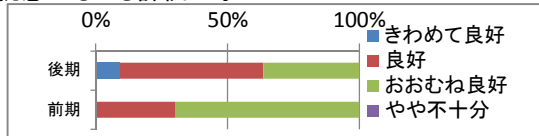


⑥について《職員アンケート結果》

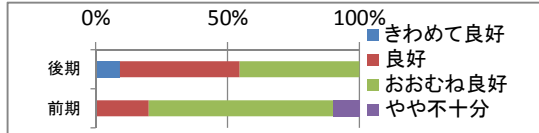
発問の精選、学習課題とまとめ



達成感もてる評価の手立て

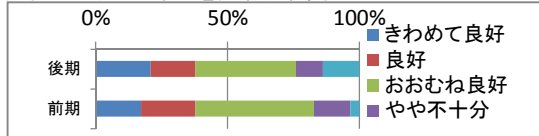


ねらいの明かな話し合い

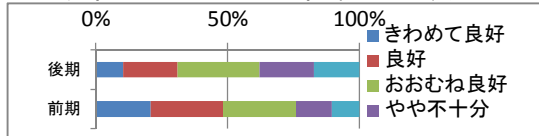


⑥について《生徒アンケート結果》

授業中に自分の考えを発表し、高め合えた



友だちの発言にハンドサインや言葉で意思表示



イ
学校運営
の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

IV 教師の研修

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
実践的研修会を通して、共に高めあう教師集団が構築されている。	前期	良好	良好	職員の各種研修会参加により成果がでている。生徒の学習の向上のためにも、さらなる努力を希望します。職員の研修面については、授業研究会や職員会議での研修報告など、生徒のために懸命に取り組んでおり、高度な学校運営がうかがわれる。
	年度	良好	良好	先生方との話し合いで、目指す方向が明確であり、生徒が進んで取り組める環境になっている。統合に向けて、生徒達の不安が少しでも解消出来る様、先生方で話し合い対応して頂きたい。
と自己評価の改善の概要	【前期(一年度)】「生徒主体の授業の構築」という方向性を全職員で確認し合い、その効果的な手法について、授業研究会や職員会議での話し合いを通じて研修を重ねてきた。互いの授業を参観しあうことも、短時間から1時間の参観とすることで効果があがっている。今後も職員会議等を活用して、校内のみならず校外での研修成果の共有化も図っていききたい。			
	【年度(次年度)】「1時間の授業構想をしっかりと練り上げた上で授業に臨む」という教師集団としての基本姿勢を確認し合い、授業を行う前にねらいとまとめについて記述し、閲覧し合うという取組を行った。ねらいとまとめ・評価の整合性を自己チェックするとともに、教科枠をこえて研修を深め合いながら、少しずつ授業改善が進んできている。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
⑦研修の実施及び活用	校内研修会及び各種研修会への参加	校内研修会や各種研修会を通して自己研修を深める工夫	4	4
	研修成果の共有と研究の具体的方策徹底の工夫	校内研修会、職員会議の活用		
⑧授業力向上のための授業研究の推進	小中の日常的な授業交流と授業参観	小学校との授業交流の実施と授業改善	4	4
	授業点検、評価を生かした授業力向上の取り組み	授業記録とその振り返り、評価問題の継続実践		

⑦について 《校内研修会、共通理解事項》
 (9月) 第1回 研究の全体計画について (1月) 授業デザインカードの記入について
 (10月) 市教研に向けた指導案検討会(社会、音楽) 学習状況調査の結果についての課題と今後の取組

(11月) 校内授業交流会、補充指導・家庭学習について

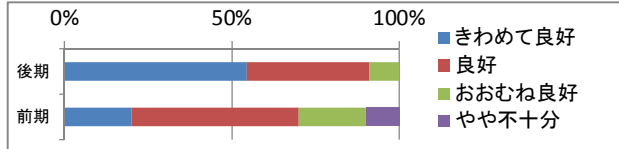
《授業交流について》

第1回小・中授業交流週間に実施

《職員アンケート結果》

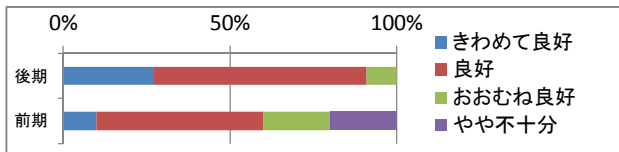
○ 校内外の研修に積極的に参加しましたか

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	6	4	1	0	0	4.5
前期	2	5	2	1	0	3.8



○ 校内研修会での研究内容を理解し、日々の授業で実践していますか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	3	7	1	0	0	4.2
前期	1	5	2	2	0	3.8

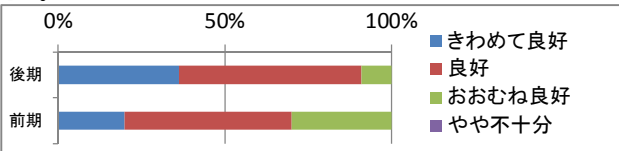


⑧について (11月)小中連携研究会 中学校英語科の授業、小中授業参観交流期間

(2月)小中連携協議会

○小・中の授業交流を授業改善に生かしましたか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	4	6	1	0	0	4.3
前期	2	5	3	0	0	3.9



イ 学校運営の状況

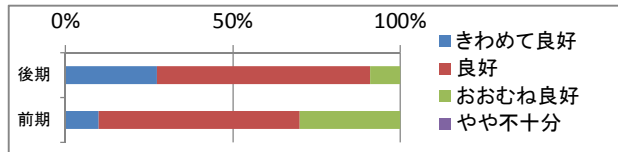
V 組織運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	おおむね良好	良好	昨年度の課題をクリアし、効果を上げていることから、更に調整すべきことがあれば工夫を重ねてほしい。特色ある組織運営の中で、外部指導者を多く取り入れている。
	年度	良好	良好	先生方に経営方針がよく浸透していて前期に比べて後期は、ポイントは全て上回っている。自信をもって、生徒の指導にあたって頂きたい。学校評価の結果をよく研究されて実行しているため、学校行事も他校に劣らない結果をだしている。
学自校己の評価改善の概要と	<p>【前期(→年度)】 昨年度課題を残したドリルの実施について、年間の計画通りに進められるように、実施時間の確保に留意するとともに、効果を引き出すために、内容にも工夫を加えた結果が、アンケートの数値に表れていると考える。また、日々の指導の反省点を、できるだけ早く改善に生かすために、日程変更の回数が増えているが、そのことで職員への連絡の遅れや不徹底を生じさせてしまった。これらを解消するために変更の確認と周知の徹底に努めたい。</p> <p>【年度(→次年度)】 経営方針や学校目標の具現化に関しては職員は後期積極的な取組をしてきた。特にこの学校評価であきらかになった課題に対する改善策を学期毎に検討し実行してきた。教育課程においては菊プロジェクトなどのイベントのみならず、日常の学力向上への取組など矢中らしい特色がだせた。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
⑨学校の明確な運営	経営方針・重点施策の明確化と評価の活用	学校経営概要の明示、学校経営評価計画の提示	3	4
	分掌の明確化と共通理解を図った組織的な取り組み	校時表の変更、時間割の調整、月予定・週予定定期的な調整		
⑩小中連携と個に応じた指導の充実を図る教育課程の編成と実施	小中連携を可能とする教育課程の編成と連絡調整	生徒の実態に応じたTTの実施、授業外の補充的な学習時間確保	4	4
	基礎・基本の定着を目指した教育課程の編成と運用	家庭学習の充実のための学年だよりの活用		

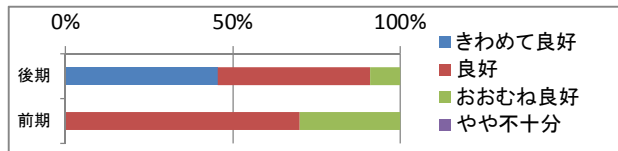
今年度の経営方針や重点事項を理解し実践していますか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	3	7	1	0	0	4.2
前期	1	6	3	0	0	3.8



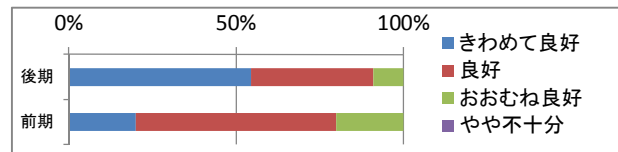
学校目標の具現化に向けて各分掌は重点事項に取り組んで

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	5	5	1	0	0	4.4
前期	0	7	3	0	0	3.7



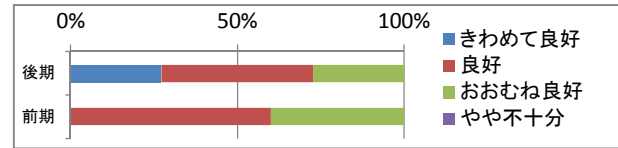
授業や帰りのドリルなどの時間配置、TTの配置は生徒の実態に即して適切に行われていますか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	6	4	1	0	0	4.5
前期	2	6	2	0	0	4.0



小中授業交流のための調整が確実に行われ、週予定などで明確に示されていますか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	3	5	3	0	0	4.0
前期	0	6	4	0	0	3.6



○学校評価をもとにした具体的な取組事項

- [2学期] ・学習の約束の意識化、コの字型の机配置による表現力の育成 ・教師間の情報共有の場の設定
- ・集会等での表現力育成の場の設定 ・打合せを利用した上記取組の日常的な職員の意識化と改善
- [3学期] ・1時間毎の授業計画の作成、あいさつの意識向上への取組、諸行事を通して生徒の意識向上

イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携(安全)

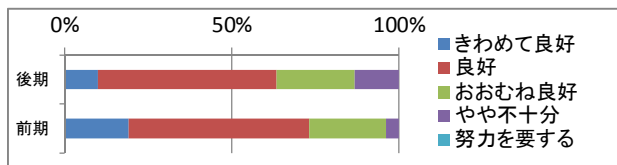
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
地域や保護者と連携しながら、諸活動を通して、地域と共に歩み、地域に元気を与える学校づくりが推進されている。	前期	良好	良好	各種行事や菊祭りなど、地域との交流がはかられています。菊祭りなどの行事により、イベントが実施されることは、交流が深まると思います。学校行事については、統合により全て最後であり、意識しながら地域と連携し円滑に運営されており、PTA活動も活発に活動し元気な学校運営が見られた。
	年度	良好	良好	各種行事や公民館祭りなど、地域との連携及び交流が推進されています。閉校に向けて、地域や保護者と連携しながら最後まで頑張って頂きたいと思います。
校自己評価の概要と学	【前期(→年度)】地域の力に支えられ、総合的な学習や行事、PTA活動などを通して学校経営目標の実現に向けて前進することができた。地域人材や素材を授業に生かすことについては2学期の菊プロジェクトや講演会の機会をいかして取り組んでいきたい。また、学校報等で情報発信するとともに、学年だよりでは家庭学習について学校と家庭の連携を図ることができた。さらにブログ等での素早い情報発信を行いたい。今後も地域の方々とともに、閉校を迎えても記憶に残る学校を目指して取り組んでいきたい。			
	【年度(→次年度)】1年間を通して、地域と一体となった活動ができた。特に菊まつり集会では下の感想に見られるように、地域に元気を発信しただけではなく、子どもたちも大きな成長をとげることができた。それが、教師のアンケート結果にも表れている。しかし、これらの取組をしっかりと保護者の方に伝えられなかったこともわかった。学校報、学年通信、ブログ等で情報発信し、ホームページも更新したが、より一層保護者の方に学校の様子を知っていただく機会や方法を検討する必要がある。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
①家庭・地域・小学校との情報交換、教育力活用	学校報、学年だよりの充実	家庭学習の充実のための学年だよりの活用	4	4
	地域と一体となった学校行事、PTA活動 学校支援地域	家庭学習の充実のための学年だよりの活用		
	授業や総合的な学習の時間への積極的な活用	地域の人材の活用(歴史・文化・伝統芸能等)		
	各種アンケートや学校関係者評価の活用	アンケートや学校評価の実施 評価を生かした改善		

《保護者アンケート結果より》

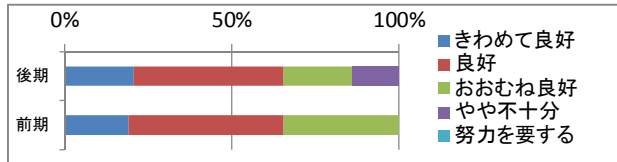
・学校は、子どもたちの活動や学校の取り組みについて分かりやすく伝えていきますか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	3	16	7	4	0	3.6
前期	5	14	6	1	0	3.8



・学校は、保護者や地域の方の意見や要望を教育活動に生かすようにしていますか。

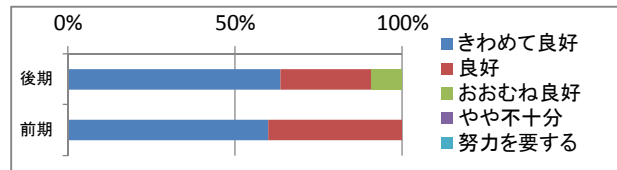
	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	6	13	6	4	0	3.6
前期	5	12	9	0	0	3.8



《教師アンケート結果より》

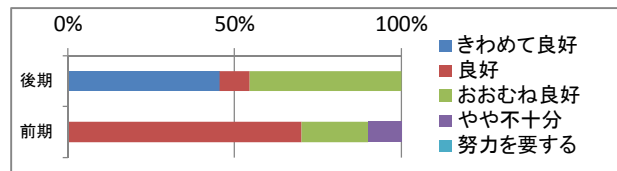
・保護者や地域の方々と一緒に活動できましたか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	7	3	1	0	0	4.5
前期	6	4	0	0	0	4.6



・地域の人材や素材を授業に生かしましたか。

	きわめて良好	良好	おおむね良好	やや不十分	努力を要する	平均
後期	5	1	5	0	0	4.0
前期	0	7	2	1	0	3.6



○菊まつりプロジェクト生徒感想

・最後の全校合唱は一生懸命心をこめて歌えました。特に校歌はたくさんの思いを込めて全力で歌うことができました。泣いていた方もおられたので「歌って良かったな」と思いました。

・菊まつり集会のように、1つの場所にみんなが集まれる機会はないと思うので、普段登校や下校の時などに地域の人に会ったら元気なあいさつをするなどして、矢立中学校が閉校するまでに、たくさんの感謝を伝えていきたい。

○PTAコーラス参加者

地域の方10名、旧職員3名、保護者25名、教職員17名、中学生30名 計85名